

【法蔵館文庫】

怪異と身体の民俗学

異界から出産と子育てを問い直す

やすいまなみ 著
安井眞奈美 著 ▼文庫判・並製カバー・384頁・定価1650円

2026年9月刊行



出産や育児にまつわる習俗や怪異譚を手がかりに、日本人が身体と生死をどのように捉え、どう変容していったのかを解き明かす。

【目次】

はじめに

——コスモロジーとしての身体、表象としての妖怪

第一章 胎児分離埋葬の習俗と出産をめぐる怪異のフォークロア

——その生成と消滅に関する考察

第二章 産女から水子へ

——出産に関する怪異の変容とジェンダー

第三章 胞衣の近代

——「奈良県風俗誌」にみる出産習俗の変容

第四章 抜けた乳歯の行方

——身体観の変容にせまる

第五章 おんぶと抱っこの変容

——身体技法に関する人類学的研究にむけて

第六章 分娩台の登場

——身体と道具の関係史

第七章 妖怪・怪異に狙われたやすい日本人の身体部位

第八章 狙われた背中

——妖怪・怪異譚からみた日本人の身体観

第九章 現代の妖怪と名づけ

——「かわいい」妖怪たちと暴力をめぐって

あとがき

——怪異と身体の人類学にむけて

初出一覧

文庫版あとがき

◆著者略歴

安井眞奈美(やすいまなみ)

一九六七年京都市生まれ。一九九〇年大阪大学文学部日本学科卒、一九九七年大阪大学大学院文学研究科日本学専攻博士後期課程修了。文学博士。現在、国際日本文化研究センター教授。専門は民俗学、文化人類学。日本と巴拉オ共和国をフィールドに、出産環境の変容を明らかにする研究を進めてきた。現在は、身体と怪異に関する研究を継続中である。

主な著作に、『出産環境の民俗学——第三次お産革命にむけて』(昭和堂、二〇一三年)、『狙われた身体——病いと妖怪とジェンダー』(平凡社、二〇二二年)。編著に、『産む・育てる・伝える——昔のお産・異文化のお産に学ぶ』『出産・育児の近代——「奈良県風俗誌」を読む』『出産の民俗学・文化人類学』『グローバル時代を生きる妖怪』。共編著に、『身体の大衆文化——描く・着る・歌う』『想像する身体(上)——身体イメージの変容』『想像する身体(下)——身体未来へ』など。

注文書

(書店印)

ご担当

様

冊

法蔵館

定価1650円

ご住所

安井眞奈美 著 【法蔵館文庫】

怪異と身体の民俗学

異界から出産と子育てを問い直す

ISBN: 978-4-8318-2737-1 C1139

お電話

お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

民俗学